

第26回学際研究会

「今、なぜ水俣病か？ 水俣病問題に関わってみえてきたもの」

講演者 村田 三郎 氏（阪南中央病院 内科医師）

略歴 大阪大学医学部卒。広島・長崎の原爆被爆者や福島原発労働者らの医療を担い、原爆症や労働災害の認定支援に関わっておられます。

演題 「今、なぜ水俣病か？ 水俣病問題に関わってみえてきたもの」

会場 阿倍野市民学習センター（あべのベルタ3階）
地下鉄谷町線・阪堺線 阿倍野駅すぐ
JR・地下鉄御堂筋線 天王寺駅 南へ徒歩10分

日時 2025年1月19日（日）14時～16時半（13時40分開場）
※ZOOM配信も予定しております。お申込みいただいた方には前々日を目途にURLをお知らせいたします。

参加申し込み 「学際研究会」ホームページ下の「お問い合わせ」の欄からご連絡ください。

その他 「学際研究会」は検索していただければトップページに表示されます。学識経験者、元行政幹部、一般研究者などで構成され、分野を超えた活動、研究成果を共有する取り組みを行っております。



ご講演いただく阪南中央病院の村田先生は長年、多くの病院で取り扱ってもらえない水俣病患者や原爆被爆者などの診断に従事され、その認定にも関わって来られています。

しかし、未だに未認定で公的な補償が受けられない被害者も多く、国を相手とする訴訟が続いています。村田先生にはお忙しい中、長年の医療活動ばかりでなく、この認定を求める活動に関してもお話しいただきます。